



犬猫を飼育している高齢者とその支援に関わる皆さまへ

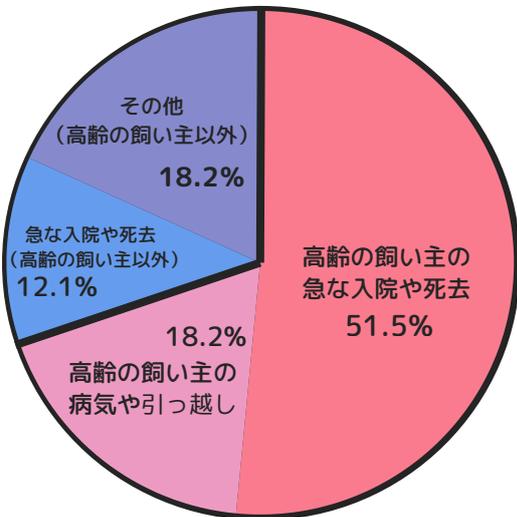


高齢者と犬猫が安心して暮らし続けるためには、飼育が困難になる前の備えが大切です。

近年は、お世話を一人で抱え込むことで、生活環境の悪化や多頭飼育崩壊につながる事例が増えています。

特に、以下のチェックに当てはまる場合は、注意が必要です。

飼育放棄により持ち込まれた犬猫の引取り理由（熊本市2024年度）



こんなケースは要注意！

高齢者と犬猫の暮らしのチェックリスト

高齢の飼い主からの引取りが70%近く

飼い主の状況

- 単身又は高齢者のみの世帯
- 身体機能や認知機能の著しい低下
- 親族等の支援が困難
- 近隣住民と交流が少ない
- 近隣住民から犬猫に関する苦情が寄せられている

犬猫の状況

- 室内外を自由に出入りしている
- しつけができていない（咬む、無駄吠え）
- 手入れができていない（毛玉が多い、爪が長すぎる）
- 病気の予防や治療をしていない（ワクチン接種やノミダニ予防）
- 飼育環境が不衛生である（餌の放置、トイレが汚い）
- 不妊去勢手術をせず複数頭飼育

【どうしたらいいか迷ったら】

上記に当てはまる場合はこちらをご覧ください→



熊本市動物愛護センターHP

【相談窓口】

熊本市動物愛護センター

（平日 08:30～17:15）



096-380-2153



〒861-8045

熊本市東区小山2丁目11-1



熊本市動物愛護センター

ハローアニマルくまもと市

